

北海道農業・農村振興審議会での審議スケジュール

日 程	北海道農業・農村振興審議会	畜産部会
令和2年 7月28日	<p>地域意見交換会（振興局：6～7月）</p> <p>■第1回審議会</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(諮問)</p> <ul style="list-style-type: none"> 第6期北海道農業・農村振興推進計画 北海道酪農・肉用牛生産近代化計画 北海道家畜改良増殖計画 </div> <p>→ 畜産部会を設置、畜産2計画を付託 →</p> <p>地域意見交換会（道：8～9月）</p>	<p>■第1回畜産部会</p> <ul style="list-style-type: none"> 論点整理
8月28日		<p>■第2回畜産部会</p> <ul style="list-style-type: none"> 畜産2計画骨子(案)の審議 酪肉近計画 数値目標(案)の審議
~~~~~ <審議会委員任期満了> ~~~~~		
10月28日	<p>■第2回審議会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第6期北海道農業・農村振興推進計画(素案)の審議</li> <li>農政部所管諸計画の審議           <ul style="list-style-type: none"> <li>北海道農業経営基盤強化促進基本方針(素案)</li> <li>北海道家畜排せつ物利用促進計画(素案)</li> <li>北海道果樹農業振興計画(素案)</li> <li>北海道花き振興計画(素案)</li> </ul> </li> </ul>	<p>■第3回畜産部会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>畜産2計画(素案)の審議</li> </ul>
	<p>パブリック・コメント(道：11月中旬～12月中旬)</p> <p>道民意識調査(道：11月頃公表)</p>	
令和3年 2月	<p>■第3回審議会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第6期北海道農業・農村振興推進計画(案)の審議</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(答申)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第6期北海道農業・農村振興推進計画</li> <li>北海道酪農・肉用牛生産近代化計画</li> <li>北海道家畜改良増殖計画</li> </ul> </div> <p>・農政部所管諸計画(案)の審議(4件)</p>	<p>■第4回畜産部会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>畜産2計画(案)の審議</li> </ul> <p>← 報告</p>
3月	<p>【諸計画の決定・公表】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第6期北海道農業・農村振興推進計画</li> <li>北海道酪農・肉用牛生産近代化計画</li> <li>北海道家畜改良増殖計画</li> <li>北海道農業経営基盤強化促進基本方針</li> <li>北海道家畜排せつ物利用促進計画</li> <li>北海道果樹農業振興計画</li> <li>北海道花き振興計画</li> </ul>	

## 農業・農村の振興に対する道民意識調査について

### 1 調査の目的

道民の意向を道政に反映させる道民“参加”型の行政（広聴）手法として、道政上の重要課題や主要施策に関する世論調査を実施し、道民の道政に対する意向や意識の的確な把握に努めるとともに、政策形成に反映させること。

### 2 調査の方法

- (1) 調査地域 道内全域
- (2) 調査対象 道内に居住する満18歳以上の個人 1,500名
- (3) 抽出方法 層化二段無作為抽出法
- (4) 調査方法 調査票の郵送配布、郵送回収（スマートフォン併用）による

### 3 農業・農村の振興に関する設問

問1	あなたは、本道の農業・農村に対してどのようなイメージをお持ちですか。
問2	あなたは、北海道の農産物に対して、どういったところが強みや魅力だと思われますか。
問3	農業・農村は、食料の生産以外にも、災害の防止や豊かな農村風景の形成といった様々な機能を有しています。あなたは、こうした「農業・農村の多面的機能」の中で、どの機能が重要であると思いますか。
問4	あなたの生活の中で、農村でレジャー活動を楽しんだり、農家から直接農産物を購入する（スーパー等での購入は除きます）など、農業や農村と関わる機会はどのくらいありますか。
問5	あなたは、今後、本道の農業・農村とどのように関わっていきたいですか。
問6	あなたは、本道の農業が将来にわたって発展していくためには、どのような取組が大切だと思いますか。

### 3 調査期間 令和2年(2020年)9月～10月（例年11月に公表）